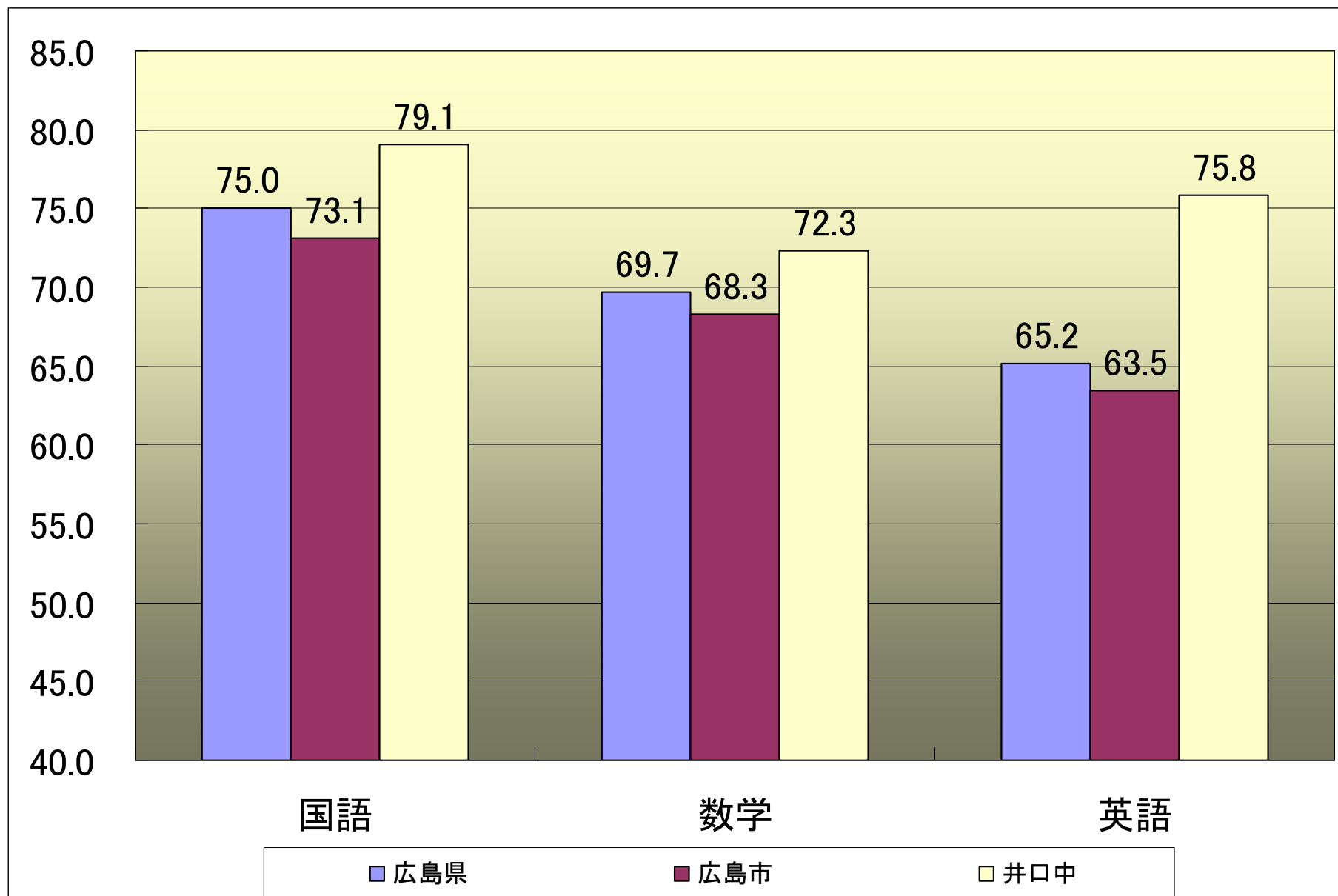


平成21年度 基礎・基本定着状況調査結果



国 語

1 教科について

昨年度の課題

- ①全体と部分、事実と意見との関係に注意して、聞き取る力を身につけさせる。
- ②文章の構成、展開に即して、内容を正確に読み取る力を身につけさせる。
- ③学年別漢字配当表に示す漢字を確実に書くことが出来るようにさせる。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①ワークシートなどを使い、文章の構成や展開に即して内容を正確に読み取る力をつけさせるように取組んだ。
- ②漢字練習の時間を十分にとり、正しく書けているかどうかの確認を行った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	75.0%
市平均	73.2%
学校平均	79.1%

領域ごとの平均通過率 (%)

	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
学校	86.9	87.6	72.6	78.5
市	81.5	66.9	70.8	76.0
県	83.8	72.3	71.0	77.3

重点課題

- ◎主語がどの部分なのかがわからない生徒が多い。
- ◎登場人物の心情を表現に即して考えることができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①普段の授業から、主語や述語について意識させ、話すことや書くことに結びつけられるように指導を行う。
- ②文学作品においてその表現に着目させ、そこから登場人物の心情を深く読み取らせたい。表現を比較したり、登場人物の心情に寄り添って読ませたり、客観的に考えさせたりすることで深く作品を読み取っていく力をつける。

数 学

昨年度の課題

- ①「数と式」、「数量関係」の領域で、昨年に引き続き、文章を読み取り数量の関係で式を表すこと。
- ②「図形」の領域で、扇形の面積を求める際、円周率 π をかけ忘れていること。また、円錐の体積を求める際、3分の1をかけ忘れていたり、2分の1をかけていること。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項から取組みの具体

- ①第1学年で扱う「文字式」「1次方程式」では、例題や問題を、繰り返し練習するために、プリントやワークなどを利用して、時間を確保して取り組んだ。
- ②第1学年で扱う「空間図形」の分野で、手作り教材を利用して、視覚に訴えるように授業を工夫したり、円周率 π については便利ではあるが、よくかけ忘れることが多いことなど、ミスしやすいポイントなどを強調するようにした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	69.7	%
市平均	68.3	%
学校平均	72.3	%

領域ごとの平均通過率 (%)

	数と式	図形	数量関係
学校	75.1	69.9	67.9
市	73.9	64.2	62.7
県	72.4	65.4	63.8

重点課題

- ◎「数と式」の領域で、小数の除法のミスが多い。正負の数の活用の所での説明の仕方ができていない。
- ◎「図形」の領域では、全体的に良くできてはいるが、空間認識が弱い。
- ◎「数量関係」の領域で、反比例についての認識が弱い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①文章題に取り組む際には、式で表す前に、図で表したり、言葉を利用した式で表現したりすることによって、段階的に指導していきたい。
- ②空間図形では、実際の教室や具体的な身の回りの物を想起させたり、できるだけ具体的に見せることで、実感として理解できるように指導していきたい。
- ③反比例については、小学校の内容から削除されていることもあり、より適切な事象や問題に触れさせることにより、指導していきたい。

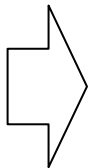
英 語

昨年度の課題

- ①場面に応じて、適切な表現を用いて簡単な文を書く力をつける。
- ②文章、会話の流れから、その内容を的確に読み取る力をつける。
- ③質問に対し、正しく答えることのできる力をつける。

昨年度の課題から取組みの具体

- ①日々の活動や課題の中で英語を書く機会を増やす。また単元ごとに単語や構文の定着をはかる小テストをする。
- ②文章の流れを意識させるため、つながりのある英文を提示することを心掛ける。
- ③教科書の内容について英語で質問したり、内容をたずねる機会を増やしたり、本読みを徹底させることにより、正しい答え方を習得させる。



「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	65.2	%
市平均	63.5	%
学校平均	75.8	%

領域ごとの平均通過率 (%)

	話すこと	聞くこと	読むこと	書くこと
学校	84.1	72.8	74.0	72.9
市	76.5	59.3	69.3	52.2
県	78.0	60.6	69.7	56.2

重点課題

- ◎昨年度に引き続き、文章、会話の流れから、その内容を的確に読み取る力が弱い。
- ◎まとまった英文を聞き、その概要や要点を正しくつかむことが他の領域に比べて苦手である。
- ◎場面に応じて英語で表現したり、つながりのある複数の文をつくることに対し、苦手意識が強い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①英文を読む方法を提示しながら、日々の活動でまとまった英文を読む機会を増やす。
- ②日々の会話や教材を利用しながら、まとまった内容のある英語を聞かせる活動を増やす。
- ③表現力に必要な基礎的な力（単語、文法的知識）をつけるため、単元ごとの小テストや毎週の宿題をとおして、既習事項を復習・定着させる場面をつくる。

2 意識調査

(1) 生活・学習 (「基礎・基本」：学校質問紙, 生徒質問紙)

改善したい点	今後の具体的な取組の内容
<p>◎自己実現力・自己効力感の領域が、県や昨年度の本校の生徒に比べて低い。自己肯定感や自信のなさが、将来への明るい展望を持たなくさせている点もあるのではないかと思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習や修学旅行で社会に対する視野を広めさせ、自身の将来像を思い描かせる。 ・学校生活の様々な場面で、一人一人の生徒の持ち味を肯定的に評価するように努める。 ・学級活動や授業の中で小グループでの活動を多く取り入れ、自分が集団に欠かせない存在であるという意識を高めさせる。

(2) 教科 (「基礎・基本」：学校質問紙, 生徒質問紙)

教科	生徒の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語の授業がよくわかります。」と答える生徒が66.5%あるのに対して国語の授業が好きです。」と答える生徒が50%である。 ・「主語に気をつけながら話したり、書いたりしています。」と答える生徒が54%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味関心を持ち、意欲を持って学習に臨めるように意識して生徒の活動の場を増やす授業を目指していきたい。 ・様々な場面で主語や述語を意識するように働きかける。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の授業はよく分かります」と答えた生徒が77.0%であるのに対し、「数学の授業を楽しみにしています」と答えた生徒は58.9%だった。 ・「授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています」と答えた生徒は45.6%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より授業に関心が持てるように、説明ばかりにならず、教材を工夫したり、隣同士で考えたりする活動をしていきたい。 ・発表をさせる際には、結論だけでなく根拠も答えさせる活動をより多く取り入れていく。また、周りとの教えあいの活動の機会を増やし、人に説明する場面を積極的に作っていきたい。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の勉強は好きだ、と答える生徒が70.2%、授業を楽しみにしている生徒が66.1%とかなり意欲面では高い。また、ALTの話の聞いたり、話したりすることも72.6%と高い。しかし、与えられた学習については積極的に取り組むが、辞書を使って調べるが54.8%、話が続くようにつなぎ言葉を用いて話すのが46.0%と一工夫した学習が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習ができるように、授業の中で辞書を使わせる工夫をしたり、現在の力で満足しないよう、次のステップへの示唆を様々な活動の中で与えていくことを心がけたい。

様式 5

指導改善のための実施スケジュール

	～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
Plan	Do		Check			Action		Check
	結果の分析・H20の改善計画の見直し		H21の改善計画の実施			検証		次年度の計画
【教科】 国語	・全体と部分、事実と意見との関係に注意して聞くよう指導する。	・文章の展開を確かめながら要旨をとらえる指導を行う。	・伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えを明確にして書く指導を行う。	・行書の基礎的な書き方を確認する。	・これまでの指導の総まとめを行い、課題が見つければ、再度指導し定着をはかる。	・指導改善内容の検証を行い、次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し、実施する。
数学	・演習を繰り返し行い、1次関数の基礎基本を定着させる。	・1次関数の特徴を総合的にとらえ、考察させる。	・演習を繰り返し行い、図形の基礎基本を定着させる。	・証明問題を通して論理的思考力をつけさせる。	・これまでの指導の総まとめを行い、課題が見つければ、再度指導し定着をはかる。	・指導改善内容の検証を行い、次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し、実施する。
英語	・英問英答や、インタビュー活動を充実させ、習慣化を図る。	・単語や、構文を繰り返し書く課題を与え、家庭学習に位置づける。	・授業の中で本文の内容に関する英問英答を行う。	・单元ごとに単語や構文の定着を図る小テストを行う。	・これまでの指導の総まとめを行い、課題が見つければ、再度指導し定着をはかる。	・指導改善内容の検証を行い、次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し、実施する。
【生活・学習】	・家庭での生活習慣、特にテレビ、ゲーム、インターネットの時間について問題提起を行い、家庭でも話す機会を作って頂く。	・学活などを利用して、生徒に生活習慣の改善計画を立てさせる。	・第4回テストの学習計画作成、実施について重点的に指導を行う。 ・職場体験を通して、将来の自分をイメージし、目標を持って取り組めるように指導する。	・保護者懇談会にて、家庭での生活習慣の改善について、保護者とともにその後の状況を確認し、残された課題の解決を図る。	・修学旅行を通して社会に対する関心を一層高められるよう、事前学習を十分に行う。	・第5回テストの学習計画作成、実施について重点的に指導を行う。	・3年生に向け、最高学年としての自覚と、進路実現に向けた目標を立てる。	・計画を再検証し、実施する。